

## 自民党自動車議連との政策懇談会

### 額賀議連会長が「自動車産業が国内外で存在感を示していくことが大事」との認識示す

また、平成30年の『勝負の年』に向け、しっかりとした議論の必要性を訴える



**自** 民党自動車議員連盟と自動車関係16団体との政策懇談会が11月10日、東京・千代田区の衆議院第一議員会館で開催された。10月22日に総選挙が行われたため、政府・与党内の平成30年度税制改正論議は開始されたばかり。政策懇談会は佐藤信秋議連事務局長の司会で開会し、冒頭、挨拶に立った額賀福志郎議連会長は、「党税調の審議も始まり、12月中旬の大綱決定に向け、まずは団体の皆さまから率直なご意見を聞かせていただき、その上で党内の議論をまとめていきたい」と話した。

毎年、税制改正論議の大きな争点となっている車体課税は、平成29年度税制改正大綱で「平成31年度税制改正までに、自動車の保有に係る税負担軽減に関し総合的な検討を行い、必要な措置を講ずる」とされ、抜本見直しに向けた本格的な議論は来年度に行われる見通しだ。額賀議連会長も挨拶の中で、「平成29年度税制改正大綱を踏まえ、消費税率が10%へ引き上げられる再来年に向けてしっかりと議論していくことが大事」と述べており、自動車関係団体では平成30年を「勝負の年」として“2年越し”の活動を続けている。

抜本見直しに向けて、額賀議連会長は「自動車業界は電動化や自動走行など国際的に激しい戦いを行っており、わが国の経済を安定させていくためにも、自動車産業が国際的に競争力を持って国内外で存在感を示していくことが大事だと考えており、経済政策、税制、財政においてもしっかりとサポートしていきたい」との認識を示し、業界側からのヒアリングに移った。

業界側からはまず、出席16団体を代表して、当会議所の内山田竹志会長が挨拶＝3ページ参照＝。続いて、日本自動車工業会の川口均常任委員長をはじめとする各団体の代表者より、順次、業界の状況や税制改正要望などの説明が行われた。その後、本政策懇談会に招聘された経済産業省の多田明弘製造産業局長が、「簡素化・ユーザー負担軽減による国内市場の活性化、国内の産業・雇用基盤の維持・強化、こうした観点から恒久的措置を含む車体課税の抜本的な見直しが必要である」と述べたうえで、同省の具体的な要望として、①自動車税の税率引き下げなどによる車体課税の抜本の見直し、②自動車取得税の免税点に係る特例措置の延長——の2つを挙げた。



額賀議連会長



細田議連幹事長



佐藤議連事務局長

## 日本自動車会議所 内山田竹志会長 挨拶要旨

日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、国内自動車産業の経営環境は、大変厳しいものがあります。市場規模は、ピーク時に比べて270万台も減っており、これ以上縮小するようなことがあれば、国内生産や雇用の維持が困難となりかねない状況です。



自動車産業が日本経済をリードし、地域経済や雇用に貢献していくためにも、自動車関係諸税の負担軽減・簡素化による国内市場活性化は喫緊の課題であると認識しております。

5日前に閉幕いたしました東京モーターショーは、連日多くのクルマファン・バイクファンの熱気に包まれ、改めていかに多くの方々がク

ルマを愛し求めているか、われわれも実感できましたが、これをいかに購入に結び付けていくか、あと1歩の努力・知恵が必要と痛感した次第です。

昨年末に決定されました税制改正大綱では、「平成31年度税制改正までに、自動車の保有に係る税負担軽減に関し総合的な検討を行い、必要な措置を講ずる」との、従来に比べて大変踏み込んだ文言を明記いただきました。誠にありがとうございます。

この大綱を踏まえ、自動車業界の長年の悲願、総意である「自動車税の税率引き下げ」を核とする「保有課税の負担軽減」を、是非とも実現いただきたく重ねてお願い申し上げます。私もといたしましても、コンプライアンスの再徹底はもちろん、それぞれの分野で社会的使命を果たすべく、不断の努力を鋭意継続してまいり所存です。

わが国自動車産業の、日本経済や国民生活に占める重要性に鑑み、何卒、格段のご配慮を賜りますことを重ねてお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

最後に、細田博之議連幹事長が「総選挙があったため、大綱決定までの議論の期間は短いですが、十分な議論を重ね、本日の要望を踏まえて議員各位が奮闘努力していただきたい」と締めくくり、政策懇談会は閉会となった。

なお、政策懇談会に先立って、議連の総会が行われ、副会長に山本有二衆議院議員、竹下亘衆議院議員が就任するなど新たに5名の新役員が決定した。

### 【団体側出席者】(順不同) 16団体、合計34名

▽自工会 = 川口均常任委員長、永塚誠一副会長・専務理事、▽自販連 = 久恒兼孝会長、島崎有平常務理事、▽全ト協 = 坂本克己会長、小幡銀伸副会長、梶野龍二理事長、▽全タク連 = 伊藤宏副会長、神谷俊広理事長、▽日バス協 = 三澤憲一会長、梶原景博理事長、▽全軽自協 = 堀井仁会長、小宮稔副会長、徳永泉専務理事、▽中販連 = 海津博会長、木谷忠理事・税制委員長、永井保典理事・総務部長、▽部工会 = 大下政司副会長・専務理事、尾関明人業務部部长、



出席団体の要望に耳を傾ける自動車議連役員

▽輸入組合 = フリーデマン・ブリュール副理事長、小林健二専務理事、▽日整連 = 木場宣行専務理事、清水敦事務局次長、▽全レ協 = 縄野克彦会長、甲田秀久専務理事、▽リース協 = 東馬圭一会長、高木紳雄参与、▽車工会 = 古庄忠信副会長、吉田量年専務理事、▽通運連盟 = 飯塚裕理事長、小松崎義幸総務部長、▽全自協 = 留安敬一専務理事、▽会議所 = 内山田竹志会長、中島哲専務理事